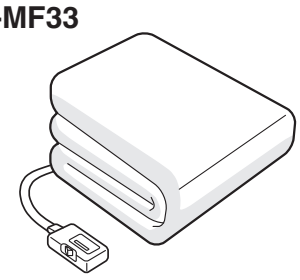
YAMAZEN

取扱説明書・保証書

製品名

電気敷毛布

YMS-F33P
YMS-F37P
YMS-MF33



このたびは弊社商品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「**安全上のご注意（1ページ）**」を**必ずお読みください。**
- **保証書は裏表紙についています。**
  「お買いあげ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- この商品は日本国内専用で、海外ではご使用いただけません。
  This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 取扱説明書のイラストと実際の製品の形状が異なる場合があります。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOK を チェック!

随時情報を更新中!

もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・・・1
正しい使いかた・・・・・・・・・・・2
お手入れのしかた・・・・・・・・・・5
故障かな？と思ったら・・・・・・・・6
アフターサービス・・・・・・・・・・6
保証書・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

仕　様

定格電圧	交流100V-50/60Hz	消費電力量	強:約35Wh 適温:約22Wh 弱:約13Wh
定格消費電力	50W	電気代(1時間あたり)	強:約1.1円 適温:約0.7円 弱:約0.4円
本体寸法	たて約140cm × よこ約80cm	毛布材質	表　面：ポリエステル100%
コード	電源側:約1.96m 本体側:約0.65m		発熱布：ポリエステル100%
表面温度	強:約53℃ 適温:約33℃ 弱:約21℃		裏　面：ポリエステル100%

※表面温度：JIS C 9210の平常温度試験方法に基づき測定。
※電気代・消費電力量(1時間あたり)：室温15°C、綿布団の中で8時間運転した時の平均消費電力量を1KWh=31円で算出した値。
※ご使用される環境の差で表面温度、消費電力量や電気代が標準より上下する場合があります。
※暖かさの感じ方には個人差があります。
※製品の仕様・デザインは予告なく変更する場合があります。

2401

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や危険や損害を未然に防止するための重要な内容です。
誤った使いかたをすると生じる被害を3つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠危険　人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容
⚠警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意　人が障害を負う可能性および物的損傷のみの発生が想定される内容

絵表示の意味

🚫 してはいけないことを表しています。　❗ しなければならないことを表しています。

⚠危険

乳幼児、自分で温度調節できない方は付き添いなしでは使用しないでください。
低温やけどや脱水症状を起こす恐れがあります。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

丸めたり身体に巻き付けて使用しないでください。
低温やけどの恐れがあります。

連続で使用するときなどは使用ごとに広げ直してください。
低温やけどの恐れがあります。

低温やけどの恐れがあります。
比較的低い温度(40～60度)でも長時間皮膚の同じ場所に触れていると低温やけどの恐れがあります。
次のような方はとくにご注意を！
乳幼児、ご自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方、お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方や深酒・疲労の激しい方。

「強」目盛で長時間使用しないでください。
低温やけどの恐れがあります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

犬や猫などのペットの暖房用には使用しないでください。
ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となることがあります。

アイロン台として使用しないでください。
熱で本体を傷め、発火することがあります。

ナフタリンなどの防虫剤は使用しないでください。
コントローラー部を傷め、過熱することがあります。

本体を折り曲げて使用したり、ピンや針・刃物等で傷を付けたり、重い物をのせないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

コントローラーに水やお茶などの液体をこぼさないでください。
万一こぼしたときは、過熱の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない。
たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

正しい使いかた

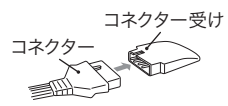
1 準備

1 銘板布の矢印方向を頭側にして毛布を広げます

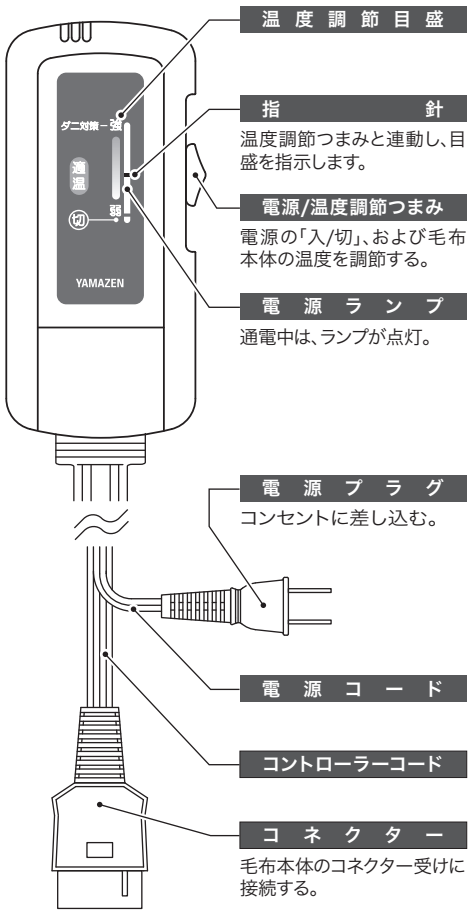
毛布本体に取り付けられている銘板の矢印方向を頭側にする。

2 コントローラーのコネクターを本体のコネクター受けに差し込む

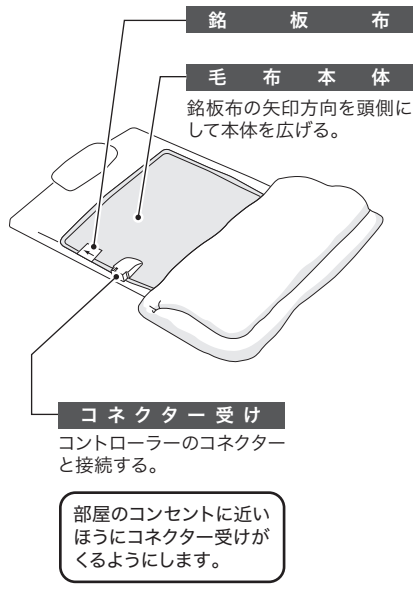
凸部と凹部を合わせ、根元まで確実に接続する。



コントローラー



本体



⚠警告

ポリ袋は、幼児の手の届くところに置かないでください。
頭からかぶると口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。

2 ご使用になるときは

1 おやすみの30分〜1時間前に予熱をする

コンセントに電源プラグを差し込み、温度調節つまみを「強」にあわせ、おやすみ前に冷えた布団を暖める。

※「強」目盛は、布団を早く温めるための予熱用です。

2 おやすみのときに温度を調節する

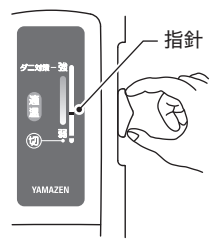
温度調節つまみをお好みの位置まで下げる。

※「強」にしたまま就寝すると低温やけどを起こす恐れがあります。
※使用中、コントローラーが暖かくなりますが、故障ではありません。
※室温が高いときは、「弱」付近では温まりにくいことがありますが故障ではありません。

就寝時の温度について

就寝時の温度は、一般に快適な寝床内温度とされている体温より少し低めに設定することをおすすめします。この温度は、暖かさを感じませんが、安眠するのに適しています。
温度調節目盛の中央よりやや下付近が目安です。

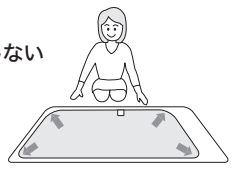
※高い温度で使用すると、低温やけどを起こす恐れがあります。
　睡眠中は、低めの温度「適温」〜「弱」、または「切」にしてご使用ください。
※寝汗をかいたり、のどがかわいたりするのは、温度が高すぎるためです。
　設定温度を下げてください。
※設定温度と感じる暖かさは、室温、布団の厚みなどの就寝環境、体質などの個人差などによって異なります。
　ぬるく感じるときは、厚手の布団にするなど、保温をよくしてください。



温度を低くする

安全のため、お守りください

- **コントローラーは、必ず布団の外に出す**
- **コントローラーを他の暖房器具から離す**
  故障や温度調節機能が正しく働かない原因になります。
- **コントローラーをぬらしたり、高い所から落としたり、踏みつけたりしない**
- **コントローラーは、絶対にネジをはずしたり、分解しない**
  感電、ショート、発火の原因になります。
- **1日1回本体を広げ直し、しわをよく伸ばす**
  寝返りなどで本体にしわがよるとヒーター線が重なったり、よじれ、局部的に異常過熱し、故障や低温やけどの原因になります。



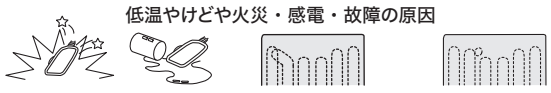
しわをよく伸ばす

こんなときは点検・修理を

- ヒーター線の重なり、よじれなどがあるとき
- コントローラーをぬらしたとき
- コントローラーに強い衝撃を加えたとき

→ ただちに使用をやめ、販売店にご相談ください

低温やけどや火災・感電・故障の原因



落とす、ぶつける　液体をこぼす　ヒーター線が重なる　ヒーター線がよじれている

3 ご使用後は

1 「切」にして電源プラグを抜く

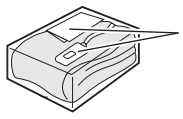
※事故防止のため、外出時や使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 収納する

本体を軽くたたみ、布団などの一番上におく。

長い間保管するときは

- **収納前によく乾燥させる**
- **本体を折りたたみ、購入時の箱などに収納し、湿気の少ない所に保管する**
- **ナフタリンやしょうのうなどの防虫剤は使用しない**
  本体やコントローラーを傷め、故障や火災の原因になります。
- **シーズン終了後は、洗たくをおすすめします**



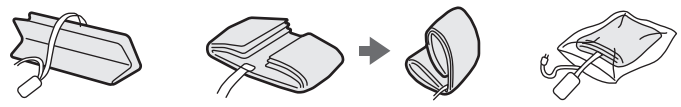
コントローラーや取扱説明書は、一番上に置く

●ダニ対策のしかた

1 コントローラーを本体と接続する

2 本体を折りたたみ、ポリ袋（家庭用ゴミ袋など）に入れる

①よこ4つ折にする　②たて4つ折にする　③ポリ袋へ入れる



コントローラーは、ポリ袋の外へ出す

3 敷布団の上に本体をおき、掛布団をかける

コントローラーは、布団の外へ出す

4 温度調節目盛「強」で3〜4時間通電する

5 ポリ袋から本体を取り出し、本体のおもて面、うら面に掃除機をかける

反対側の面に折りたたみ、再度3〜4時間通電するとより効果的です。

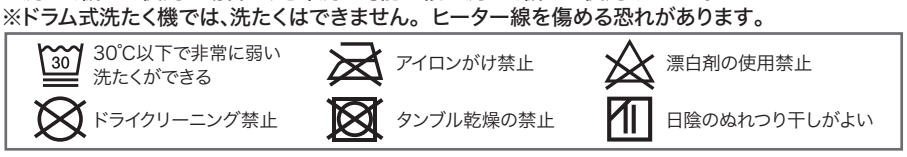
その他のダニ対策

- 布団や毛布は、ダニ繁殖防止のため、自然乾燥させたり、掃除機をかける
- 本体は、フケやホコリなど取り除くため、シーズン初めや終わりに洗たくする

お手入れのしかた

毛布本体は洗たくができます。下記のとおり洗たくしてください

※コントローラーを本体からはずしてください。コントローラーは洗たくできません。
　コントローラーの汚れは、うすめた台所用中性洗剤を布にふくませ、拭きとってください。
※洗たく機をご使用の場合は、毛布洗い可能な縦型洗たく機をご使用ください。
※ドラム式洗たく機では、洗たくはできません。ヒーター線を傷める恐れがあります。



準備

手洗いの場合

1 本体からコネクターを抜く

2 30℃以下のぬるま湯を入れ、洗たく用の中性洗剤(少なめ)を溶かす
(入浴剤の入った湯は使わない)

3 図のようにたたむ

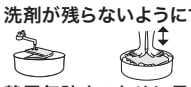
よこ3つ折り　たて4つ折り

洗たく

4 押し洗いをする（たたき洗いは、絶対にしない）
- コネクター受けは、ていねいに取り扱う。
- 汚れがひどい場合は、2度洗いする。

すすぎ・脱水

5 洗剤が残らないようにすすぐ



6 静電気防止のために柔軟仕上げ剤を使う

7 コネクター受けは、再度きれいな水で洗う

8 浴槽のふちなどに掛けて水切りをする
- 本体をしぼって脱水しない。

洗たく機使用の場合

1 本体からコネクターを抜く

2 30℃以下のぬるま湯を入れ、洗たく用の中性洗剤(少なめ)を溶かす
(入浴剤の入った湯は使わない)

3 コネクター受けを本体の内側になるように折りたたみ、毛布洗いネットに入れる

4 ウール洗い、または手洗いコースで洗たくする
- 洗たくネットのファスナーを確実にしめる。
- 他の洗たく物といっしょに洗わない。
- ウール洗いコース、手洗いコースがない場合は、手洗する。

5 洗剤が残らないようにすすぐ

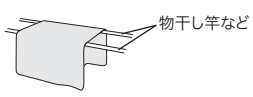
6 静電気防止のために柔軟仕上げ剤を使う

7 コネクター受けは、再度きれいな水で洗う

8 脱水は、30〜60秒程度にする
脱水後は、洗たくネットから本体を取り出す

乾燥

9 風通しの良い日陰に干し、自然乾燥させる
- 乾燥機は、絶対に使用しない。
- 通電しながら乾燥させない。
- コネクター受けは、十分に乾燥させる。
- 乾いたらすぐに取り入れる。



確認

10 本体内のヒーター線の重なりやよじれがないか、本体を広げて手でさわり確認する
- ヒーター線の重なり、よじれなどがあるとき
- コントローラーをぬらしたとき

ヒーター線が重なる　ヒーター線がよじれている

→ ただちに使用をやめ、販売店にご相談ください

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをもう一度お調べください

症　状	お確かめください
電源ランプが点灯しない 暖かくならない	電源プラグやコネクターが確実に差し込まれていますか? ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか? 温度調節つまみの目盛が低すぎませんか?

よくあるご質問

ぬるく感じる	就寝時に通電を開始しても布団が冷えているため、すぐに暖まりません。就寝前に予熱をしてください。(P3参照) 購入後すぐやシーズン初め、洗たくしたときは、本体に湿気がこもり、ぬるく感じることがあります。数回のご使用で湿気がとれ、温度が上がります。
コントローラーが暖かくなる	通電中は暖かくなります。故障ではありません。
ペースメーカーを使用していますが、使えますか?	医療用電気機器をご使用されている方は、医師に相談してください。
本体をさわるとピリピリする	冬場は乾燥しているため静電気が発生しやすくなっています。洗たくのときに柔軟剤を使用すると、静電気の発生が低減されます。(P5参照)

アフターサービス

●保証期間
お買いあげの日から1年間です。

●保証期間中
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてお買いあげの販売店へお持ち込みのうえ、修理を依頼してください。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間が過ぎているときは
お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できると診断した場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
本体の修理は、防水性や安全確保のため、交換修理となります。

●修理料金のしくみ
修理料金は、診断・修理・調整・点検などの技術料と部品代、送料などで構成されています。

●補修用性能部品の保有期間
本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●ご不明な点、修理に関する相談は
お買いあげの販売店にご相談ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、保証書面に記載されている連絡先へご連絡ください。

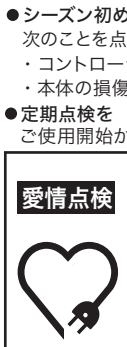
●ご自分での修理はおやめください
分解や改造は大変危険です。お買いあげの販売店へ修理を依頼してください。弊社は、ご自分で修理するための部品販売はいたしません。

点検・整備について

●シーズン初めの点検を
次のことを点検し、異常の場合は、お買いあげの販売店に修理を依頼してください。
・コントローラーの損傷　・プラグ、コード、コネクターの損傷
・本体の損傷、しわ、折ぐせ　・ヒーター線のよじれ、重なり、露出、硬化

●定期点検を
ご使用開始から3年を目安にお買いあげの販売店に点検を受けていただくことをおすすめします。

愛情点検



長年ご使用の電気暖房器の点検を!

このような症状はありませんか
- 電源を入れても、動かないときがある。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- プラグ、コード、本体、コントローラーなどが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- ヒーター線の重なり、ループ状、折りぐせが生じている。
- その他の異常・故障がある。

→ **ご使用中止**
故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。